

※()内は1人あたり額。

予算総額 **46億2,355万4千円** (587,491円)

経常収入 **40億2,197万9千円** (511,052円)

経常支出 **43億4,813万2千円** (552,495円)

差引額 **▲3億2,615万3千円** (▲41,443円)

経常収支差引額

▲3億2,615万3千円
(▲41,443円)

臨時的な収支を除いた単年度の実質的な財政状況を示す。

経常外収入 **6億157万5千円** (76,439円)

調整保険料収入 6,030万円
繰越金 1億8,000万円
繰入金 2億8,126万7千円
国庫補助金収入 4千円
財政調整事業交付金 8,000万円
不用財産等売却代金 2千円
補助金等追加収入 2千円

その他 **1,797万9千円** (2,284円)

国庫負担金収入や利子収入など。

保険料収入 **40億400万円** (508,767円)

毎月の給料や賞与から納めていただく、健保組合の主たる財源。

予算基礎数値

被保険者数	7,870人
平均標準報酬月額	373,077円
保険料率	事業主 52.25/1000
	被保険者 35.75/1000
合計	88.00/1000



収入

支出

保険料収入増収も納付金負担が大幅増

経常赤字

3億2,615万3千円

経常外支出 **2億7,542万2千円** (34,996円)

調整保険料還付金 2万円
営繕費 1,510万円
財政調整事業拠出金 6,030万円
補助金等返還金支出他 2千円
予備費 2億円

その他 **484万2千円** (615円)

連合会費など。

保健事業費 **1億2,088万2千円** (15,360円)

みなさんの健康づくりに役立てていただくための事業を賄う費用。

納付金 **19億9,540万円** (253,545円)

高齢者医療を支えるための財源として健保組合が負担しなければならない費用。

保険給付費 **22億973万円** (280,779円)

みなさんが受けた医療や、出産、死亡、休業に対する給付を賄う費用。

事務費 **1,727万8千円** (2,195円)

健保組合の事務費用。

保険料収入の
3.0%に相当

保険料収入の
49.8%に相当

保険料収入の
55.2%に相当

平成28年度予算●介護保険

予算基礎数値

徴収対象第2号被保険者数	3,885人
平均標準報酬月額	420,407円
保険料率	事業主 7.5/1000
	被保険者 7.5/1000
合計	15.0/1000



収入

介護保険収入	3億9,700万円
雑収入	4千円
合計	3億9,700万4千円

支出

介護納付金	3億6,950万円
介護保険料還付金	100万円
予備費	2,650万4千円
合計	3億9,700万4千円

予算のポイント

被保険者数の増加等で保険料増収

保険料収入は、保険料率を前年度と同率とし、保険料算出の基礎となる被保険者数や標準報酬月額などが前年度を上回る見込みから、前年度より3,100万円の増収となる見込みです。

保険給付費は前年度比1千万円減

保険給付費は、過去の実績や今年4月からの診療報酬改定の影響等を勘案して算出したところ、被保険者1人あたりで前年度比2847円の減少、総額で前年度比1390万円の減少となる見込みです。

前期高齢者納付金が大幅に増加

納付金のうち、後期高齢者支援金は前年度より540万円の増加にとどまる見込みであるものの、前期高齢者納付金は、2年前に概算払いした納付金に不足が生じたことなどから、前年度より2億5710万円の大幅な増加となる見込みです。なお、退職者給付拠出金は前年度より3090万円減少する見込みで、納付金全体では、前年度より2億3170万円の増加となる見込みです。

経常赤字額は前年度より拡大

保険料収入は増収する見込みであるものの、それをはるかに超える納付金の負担増により、健保組合の実質的な財政状況を示す経常収支では3億2615万3千円の赤字となり、その赤字額は前年度の2.5倍超に上る見込みです。なお、収入の不足分については、前年度からの繰越金や積立金からの繰り入れなどによって補う予定です。